

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	平成28年3月15日(火) 午後2時30分から午後5時27分まで
3	会場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	齋藤重一郎会長、丸山かず子副会長、内田弘子委員、小澤厚委員、工藤裕子委員、久保田和英委員、後藤有希委員、佐藤重喜委員、清水三枝委員、関本吉人委員、塚越洋子委員、西村勇委員、宮崎涼委員、宮下正明委員、山岸嘉幸委員、横井優司委員、吉田暘一委員 【欠席委員3名】
5	市側出席者	谷仲丸子地域自治センター長、丸山丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、石井丸子地域教育事務所長兼地域政策課政策幹、高野市民サービス課長、横井産業観光課長、芦田建設課長、竹花丸子・武石上下水道課長、池内丸子学校給食センター所長、越丸子消防署長 (説明員) 都市計画課：三浦課長、金井調査計画担当係長、林主査 産業観光課：翠川商工観光係長 (説明者は各説明終了後退室) (事務局)柳沢地域政策担当係長、清水統括主査、中山主査、竹花主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 2人
8	会議概要作成年月日	平成28年3月30日

- 1 開会(丸山センター次長)
- 2 会長あいさつ
- 3 平成28年度わがまち魅力アップ応援事業(第1回募集分)選考審査
 - (1) 事務局からの受付状況の報告
 - ・ <審査番号1> 申請団体名：中丸子歴史研究会 事業名：シルク繁栄今昔物語事業
中丸子地域を中心とした江戸時代から現在までの養蚕や紡績業に係る記録を他地域とも連携して広く収集して、その歴史を冊子にまとめて散逸を防ぐとともに、地域にある製糸工場跡地などの案内板の設置や歴史めぐりルートマップの作成により、歴史的資料として後世に引き継ぐことを目的とする事業。
 - ・ <審査番号2> 申請団体名：雅楽の演奏復活の会 事業名：歴史と文化の復活プロジェクト
旧公民館解体の際に発見された鳳笙等の和楽器を活用し、現在途絶えてしまった雅楽を復活させ後世に引き継ぐために和楽器を購入、修理、及び演奏者の養成を行うとともに、他の楽器との合奏やイベントへの参加を通じ、貴重な楽器の保全を図る等を目的とする事業。
 - ・ <審査番号3> 申請団体名：腰越自治会お練り実行委員会
事業名：丸子地域の無形文化財であるお練公演を通じて文化継承と青少年育成及び地域交流活性化事業
御柱の余興演出として江戸時代から伝わる伝統あるお練を次世代に継承するとともに、参加者を丸子地域全域から募集する姫薙刀お練及び奴お練を通じ、世代間交流の促進や、地域の活性化を図り、併せて貴重なお練手続や地域愛の育成、情操保育に貢献する事も目的とする事業。
 - ・ <審査番号4> 申請団体名：チームあったかい輪
事業名：暖かで豊かな地域づくり・生き甲斐、ふれあい地域多機能ステーション事業
地域の拠点となる多機能ステーションを開設し、交流カフェの開催や、健康講座、子育ての各種講座を開催することで、障がい者をはじめ、幅広い年齢層の方の利用を促進し、人と人とのつながりや世代間交流、健康の増進を図るとともに、暮らし易いまちづくり、地域の活性化を目的とする事業。
 - (2) 応募団体による事業説明(4団体) 説明10分 質疑応答5分

* 内容省略

(3) 新規応募分選考審査（非公開） 傍聴及び報道関係者は一時退室。

ここまで開始から 1 時間 18 分経過

*** 休憩 ***

4 協議事項 1

(1) 上田市鹿教湯温泉国民宿舎鹿月荘及び上田市鹿教湯温泉健康センター（クアハウスかけゆ）の今後のあり方について

- ・両施設の今後のあり方についての協議結果報告書（案）を検討審議し、報告書案により市へ報告することを決定した。
- ・前回協議会にて資料提示要望があった、市内指定管理施設（鹿月荘、雲溪荘、クアハウス、アクアプラザ上田、ふれあいさなだ館）の運営管理状況の資料を提示。

(2) 第 6 期丸子地域協議会への申し送り事項について

- ・各分科会・研究会の報告による申し送り事項の審議。次期協議会への申し送りを決定。
 - ・以降、協議
 - （委員）「まるっ子カレンダー」について、ネット版の検討もお願い出来ればと思う。
 - （担当分科会長）子育てのお母さん方のアンケートではネットを見る時間がなかなか取れ無いという意見もあったが、今後進めていく中で考えていただくように後任に申し送りたい。
 - （委員）「まりんこ号」について。实际的にあまり乗っていない、増えていないという意見がタウンミーティング時にあった。便利性を考慮したタクシーチケットの配布やデマンド交通も視野に入れた研究もしていただきたい。
- 出された意見を含め、第 6 期丸子地域協議会への申し送りを決定。

5 報告事項

(1) 上田都市計画道路の見直し計画について（都市計画課）

- ・上田都市計画道路の変更について担当課より説明。
- ・平成 21 年度より上田都市計画道路の見直し作業に着手。丸子地域協議会の意見を H26.10.29 に伺った経緯がある。
- ・見直し路線 12 路線中、3 路線について、昨年の見直し計画から変更。腰越石井線：「一部廃止・一部変更」から「関係機関との継続協議」へ変更。沢田山岸線：「変更」から「全線廃止」に変更。川原線：「一部廃止・一部変更」から全線と駅前広場を「廃止」に変更。
- ・以降、協議
- （委員）腰越石井線については国道 152 号の改良を含めての継続協議であると考えているが、国道 152 の現道を改良しないと朝夕の渋滞の緩和はなされないと思う。
- （行政・建設課）県との協議の中で、国道 152 号の抜本的解決はバイパス案もある。また、この都市計画道路に絡めて、国道 152 号の現道改良計画について県の協力を求めたいと考えている。このあたりのことをご理解いただきたい。
- （委員）川原線廃止については結構であるが、中丸子の山岸地区によけちがいの困難箇所がある。この辺も考慮を。拡幅については自治会からの目論見も出ている。
- （行政・建設課）都市計画道路を残しておく、この幅を超えた計画決定は出来ない。都市計画道路の川原線は廃止して、市の単独事業での拡幅を目指したい。

(2) 丸子まちづくり会議準備会からの報告について

- ・タウンミーティングの開催報告。2/18 から 3/3 まで 5 会場で合計 191 名の参加者。
- ・平成 28 年 3 月 29 日、丸子まちづくり会議設立予定について説明。
- ・以降、協議
- （委員）今日の資料内の意見には、タウンミーティングでの意見に加え、アンケートでの意見も含まれているか。アンケートで出された意見の取り扱いは。
- （行政）本日の資料には、アンケートでの意見は含まれていない。次回のまちづくり準備会で提示予定。4 月の丸子地域自治センターだよりにも主な意見を紹介する。

(3) 分科会及び研究会での検討状況について

ア 丸子地域の子育て支援に関する分科会

・前回の協議会後に開催あり。丸子地域教育事務所職員との「まるっ子カレンダー」について話し合いを行った。教育委員会からは、公民館情報等も加えると「気付き」の機会が増え、住民の利便性に繋がるとの見解あり。

イ 公共交通に関する分科会

・前回の協議会後に分科会を開催。「まりんこ号」のルート変更案が、財政的に厳しいとの説明があった。また、6便から5便への減便についての説明あり。次期の協議会への申し送りとするので、ルート変更の実現について検討いただきたい。

・(行政) 今後の基本的な流れについて説明。5月の上田市公共交通活性化協議会へ新ルートの提案を行う。同時に、それにかかる経費について財政当局と平行して協議していく予定。高齢化の状況の中で、この地域交通の必要性に鑑み早期運行に努める。

・以降、協議

(委員) 分科会では今年の10月運行を目指して協議をしてきた。只今の行政の説明から10月に運行開始という理解でよいか。

(行政) センターとして、それに向けて事務を進めたい。

ウ 新しい観光に関する分科会

・協議報告書案の2回にわたる協議会での検討について分科会長より謝辞。

・当初予定のホームページ作成と情報の発信の検討が不十分だった。次期協議会では、観光に農業(農産物)を絡めた検討なども行っていただきたいと思う。

(4) 長和町に建設が予定されているし尿処理施設について(丸子・武石上下水道課)

・前回の協議会での質問事項に対する回答。

・当該施設は、長和町が、長和町と青木村で発生したし尿等を共同処理するために設置する施設。

・投入したし尿を生物処理、その処理水を隣接の長門水処理センターで再処理後、河川へ放流。1日あたりの計画投入量は10キロリットル(長和3台、青木1台)。処理水は日量10~20立方で、長和水処理センターの処理水全体の1.3%の水量。処理水放流の河川への負担は少なく、水道水源の影響はほとんど無いとの説明あり。

・市として、長和水処理センターから、定期的に月1回、運転管理や水質検査結果を徴取。年1回の情報交換を行っていく。

・以降、協議

(委員) 私たちの飲み水の関係ですので、自治センターでもきっちり環境に対して把握を。

6 その他

(1) 次回以降の会議日程について(第6期丸子地域協議会)

委嘱式 4月19日(火) 午後1時30分 上田創造館大ホール

第1回協議会 4月19日(火) 午後3時30分 丸子地域自治センター4階講堂

(2) その他

なし

7 平成28年度わがまち魅力アップ応援事業(第1回募集分)選考審査発表(非公開)

・新規応募4団体と継続事業審査分16団体が採択・承認。

8 閉会